

## 福祉体験学習【福祉コース】

## 福祉体験で小学生と交流！

11月22日（火）、常陸大宮市立緒川小学校の4年生の児童を対象に、福祉体験学習を実施しました。  
 今回は、2学年の福祉コースの生徒5名が、講師役を務めました。本校の生徒にとっても、学んだ内容を小学生に伝えることで、自分自身の福祉の学びの深化を図ることができます。また、教科横断的学習の取組として、本校3学年で「子どもの発達と保育」を選択している生徒が、小学生を迎える準備を手伝いました。



福祉コースの生徒は、今回の体験学習に向けて一生懸命準備をしていました。  
 準備した成果が出ましたね！

まず、認知症とはどのような症状かについて説明したり、日常生活で起こりうる症状についてクイズを出題したりしました。次に、高校生による寸劇を通して「認知症サポーター」として認知症の人を支えていくうえで大切なことについて勉強しました。高校生のユーモア溢れる熱演に小学生も時々笑いながら興味津々に寸劇を楽しんでいました。最後に、車椅子体験を実施しました。高校生の説明を聞いた後、小学生もペアになって交代しながら実践し、車椅子に乗っている人への心遣いについて学んでいきました。押す人だけではなく、乗る人も体験することで、乗っている人にしか分からない怖さなども体験できた様子でした。



小学生の反応が良かったため、寸劇を演じている高校生も熱がこもっていました。  
 クイズもみんな真剣に参加してくれました。

福祉体験を終え、高校生からは、「小学生のみんなが可愛すぎて、ふれあうことができて幸せだった」「寸劇で小学生のみんなが笑ってくれて嬉しかった」「最後に小学生のみんなからお礼を言ってもらえて、頑張ったかいがあった」といった感想が寄せられました。また、小学生からは、「高校生の寸劇が面白かった」「車椅子を押す時に、高校生が優しくサポートをしてくれて嬉しかった」といった感想が寄せられました。



異校種・異学年での交流は、お互いに学ぶことが多いようです。今日の体験学習を通して、たくさんのことを学びましたね。